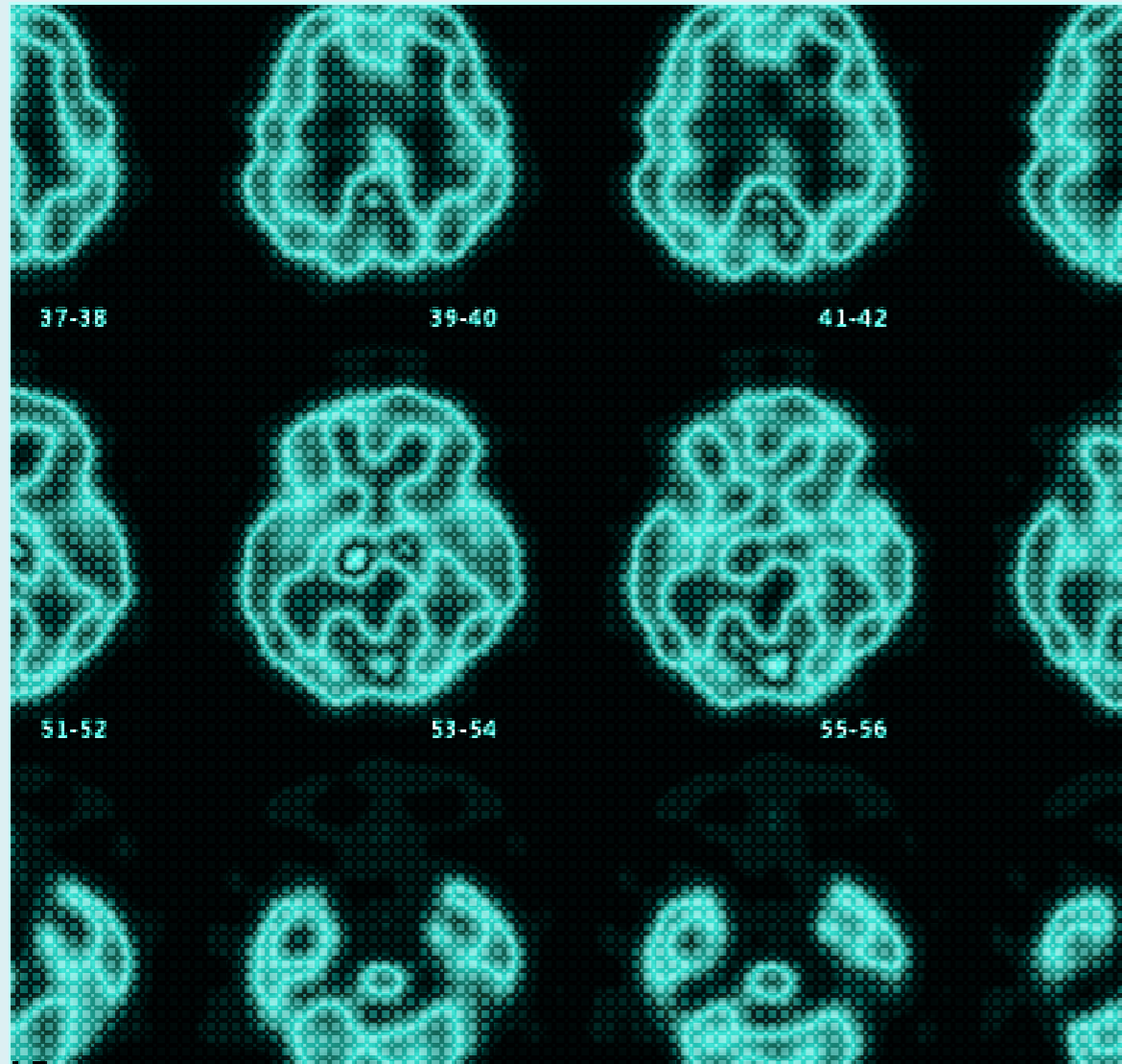


s a i k u r u

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。



認知症性疾患の鑑別診断を当院の核医学検査でサポートいたします

当院では、大型の検査・診断装置を保有している地域の拠点病院として地域の病院やクリニックから多くの患者さまをご紹介いただき検査を実施しています。この記事では、認知症性疾患の鑑別診断に有用な核医学検査にスポットを当てて、当院で行っている核医学検査についてご紹介いたします。



[12月 外来医師一覧表]

新/新規患者 再/再来患者 予約/予約患者

診療科		月	火	水	木	金	
整形外科(要予約)	新	安藤 卓	立石 慶和	大野 貴史(第1・3・5週) 寺本 周平(第2・4週)	上川 将史	柳澤 哲大	
	再	安樂 喜久	上川 将史(第1・3・5週) 柳澤 哲大(第2・4週)	安藤 卓	高田 紘平(第1・3・5週) 三浦 漢(第2・4週)	立石 慶和(第1・3・5週) 大野 貴史(第2週) 寺本 周平(第4週)	
腎臓科	新・再	—	神吉 智子	江口 剛人	板井 陽平	岩田 康伸	
【透析シャント専門外来】	新・再	副島 一晃	—	—	—	—	
ロボット 専門外来	前立腺・腎	新・再	渡邊 紳一郎	—	—	渡邊 紳一郎(第2週)	
	呼吸器外来	新・再	吉岡 正一	岩谷 和法	—	—	
	消化器科	新・再	坂本 快郎	—	—	—	田中 秀幸
	心臓血管外科	新・再	—	—	—	押富 隆	—
泌尿器科 <small>※福井医師・三上医師・占部医師も「ロボット手術」に対応しております。</small>	新・再	町田 二郎 担当医	福井 秀幸	占部 裕巳	三上 洋	富永 成一郎	
心臓血管外科	新・再	—	上杉 英之	出田 一郎	押富 隆	—	
	再	担当医(第1・3・5週)	—	—	—	担当医	
【下肢静脈瘤専門外来】	新・再	—	担当医	—	—	—	
循環器内科	新・再	平井 元子(第2・4週) 坂本 知浩 劔 卓夫 井上 雅之 根岸 耕大	田中 靖章 奥村 謙 由布 哲夫 市丸 直美	兒玉 和久 岡松 秀治 堀尾 英治 林 克英	山室 惠 奥村 謙 金子 祥三 神波 裕	田口 英詞 古山 准二郎 鈴山 寛人 堀端 洋子	
【デバイス/遠隔モニタリング外来】	再	—	—	—	担当医	—	
【LVAD外来】	再	—	—	兒玉 和久(第2週) 岡松 秀治(第4週)	—	—	
呼吸器外科	新・再	吉岡 正一	岩谷 和法	—	松石 健太郎	—	
呼吸器内科 <small>※全医師が「COPD専門診療」に対応しております。</small>	新・再	一門 和哉 関戸 祐子 江口 善友	保田 祐子 神宮 直樹 西山 健太(第1・3・5週) 中村 和憲(第2・4週)	一門 和哉 村中 裕之(第1・3・5週) 飯尾 美和(第2・4週) 久永 純平(第1・3・5週) 江口 善友(第2・4週)	保田 祐子 川村 宏大	坂田 能彦 仁田脇 辰哉 久永 純平	
【化学療法】	新・再	坂田 能彦	坂田 能彦	川村 宏大	神宮 直樹	—	
糖尿病内科	新・再	松尾 靖人	星乃 明彦	松尾 靖人	星乃 明彦	星乃 明彦(第1・3・5週)	
腫瘍内科	新・再	森北 辰馬 小田 尚伸	森北 辰馬 小田 尚伸	森北 辰馬 小田 尚伸	森北 辰馬	森北 辰馬 小田 尚伸	
【緩和ケア外来】	新・再	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
脳神経外科 <small>※全医師が「未破裂脳動脈瘤専門診療」に対応しております。</small>	新・再	天達 俊博	山城 重雄	松崎 啓亮	植川 顕	加治 正知	
【ガンマナイフ外来】	新・再 予約	後藤 智明 山本 東明	後藤 智明 山本 東明	後藤 智明 山本 東明	後藤 智明 山本 東明	後藤 智明(新患のみ) 山本 東明	
脳神経内科	新・再	稲富 雄一郎	米原 敏郎	池野 幸一	松原 崇一郎(第2・4週) 松尾 圭将	永沼 雅基	
外科	新・再	沖野 哲也	松本 克孝 後藤 理沙	高森 啓史 辛島 龍一	増田 稔郎 清水 健次	新田 英利	
消化器内科	新・再	工藤 康一 古川 歩生 吉田 健一	岩崎 智仁 近澤 秀人 上原 正義	須古 信一郎 上川 健太郎 塩屋 公孝(AM) 江口 洋之(PM)	浦田 淳資 近澤 秀人 山邊 聡	上原 正義 後藤 健太 今村 治男	
放射線科	新・再	松山 圭矢	松山 圭矢	松山 圭矢	松山 圭矢	松山 圭矢	

※担当医師は月により変更することがあります。ご了承ください。

認知症性疾患の核医学検査

01

核医学検査の特徴と利点

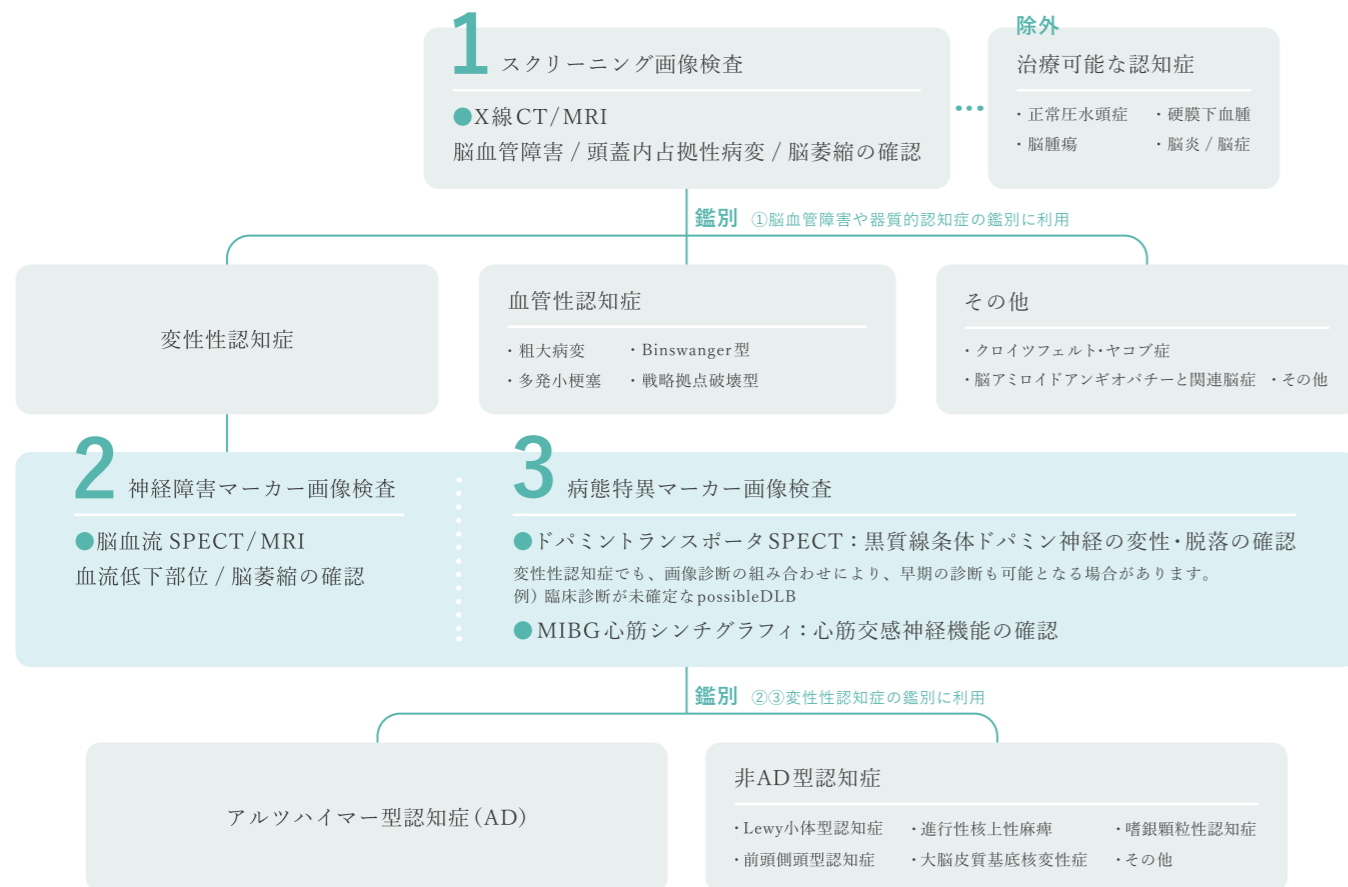
高精度の形態情報を画像として反映して診断を行うCT検査やMRI検査と異なり、核医学検査では、臓器や組織の生理・機能・代謝情報を画像として反映して診断を行うことが可能です。これによって他の画像検査では評価できない、病期診断や治療予後の確認、治療前後や治療中の治療効果判定、疾病の状態把握などが可能となります。

また、核医学検査の特徴として形態上変化が現れる以前の疾病状態をより早期にキャッチし画像化することができます。さらに見た目の画像評価だけでなく、数値化して画像を評価する定量検査も可能です。

03

変性性認知症の鑑別診断には核医学検査が有用

変性性認知症が疑われる場合、その鑑別に有用である核医学検査を実施いたします。神経障害マーカー検査である脳血流SPECT、病態特異マーカー検査であるドパミントランスポータSPECT、MIBG交感神経シンチグラフィを行い、アルツハイマー型認知症や非アルツハイマー認知症(レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、進行性核上性麻痺など)などの鑑別診断を行います。



出典先：メジフィジックスHP掲載 認知症診断フロー監修：東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム 石井賢二先生

診断・治療の支援ツールとしてご利用ください

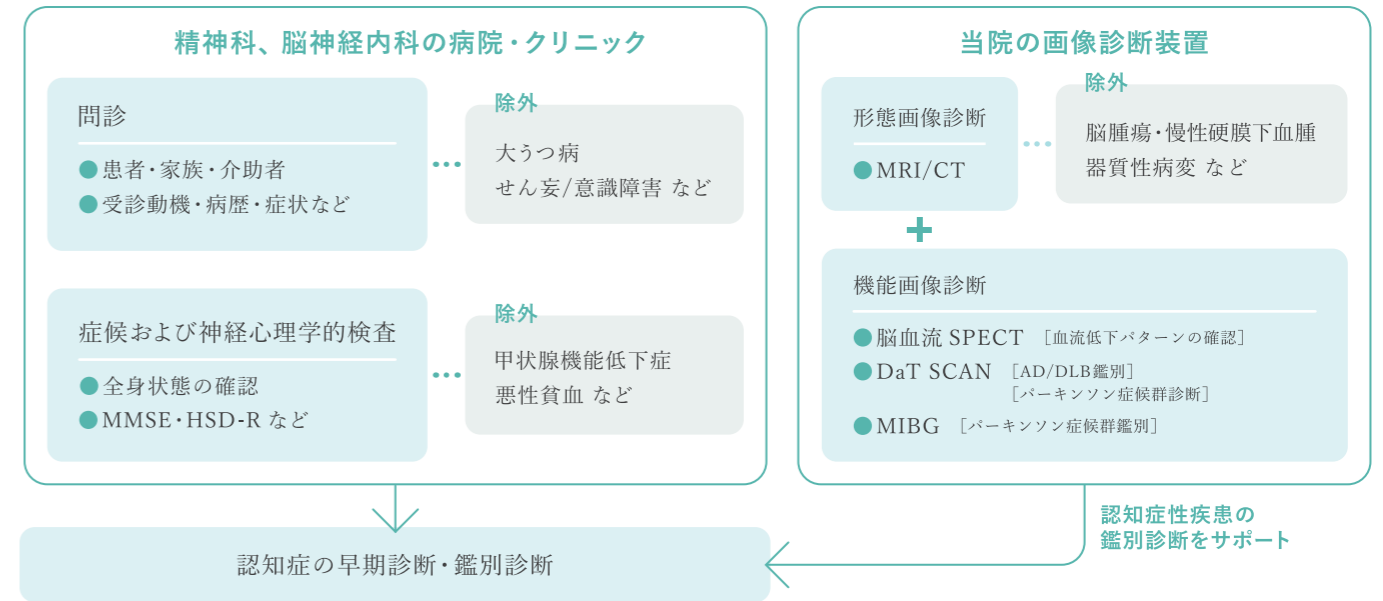
検査の
ご予約方法

- 01 紹介患者FAX依頼書に必要事項を記入
 ※所定の様式は当院HPからダウンロード可
 ①【基本情報】患者氏名・生年月日・住所等
 ②【検査のみ】の項目をチェック☑
 ③【希望日・希望曜日・希望検査】の記入
 ④【傷病名・紹介目的】検査目的・検査名を記入

02

認知症性疾患の診断の流れ

認知症性疾患の診断では、精神科・脳神経内科の先生方が行う、問診や診察、症候および神経心理学的検査(MMSE・HSD-Rなど)をもとに認知症の診断が行われます。機能画像診断である核医学検査は、認知症などの診断に有用な画像検査と言われており、先生方の診断根拠を補強して認知症性疾患の早期診断・鑑別診断をサポートいたします。



04

当院の核医学検査装置

当院では、3検出器を搭載した頭部・心臓専用SPECT装置を導入しています。全国で55台、九州では4台(熊本は当院のみ)しかない珍しい装置で、汎用型のSPECT装置と比べて感度および分解能が高く、頭部・心臓領域の核医学検査においてより正確な画像診断が可能です。認知症性疾患は今後ますます増加することが予想されています。今後、地域の医療機関との連携体制を強化することで、核医学検査を含む当院の画像診断を広く利用していただき、早期診断、早期治療のサポートを通じて地域の皆さまの健康維持に少しでも貢献していければと思います。

3検出器型SPECT装置
 感度重視のSPECT画像を目指した3検出器型ガンマカメラ

- 3つの検出器で効率検査
- コリメータ交換で各検査に対応
- 最新の画像処理を高速処理
- 乗降しやすい低床寝台
- 頭部・心臓専用機ならではの装備

画像提供：Canonメディカルシステムズ

当院装置(頭部専用機)と汎用機 比較
¹²³I-IMP SPECT画像

当院装置	汎用機
体軸断	体軸断
冠状断	冠状断

汎用機の画像と比較してボケが少なく脳への集積を明瞭に描出することが可能です

外来紹介センター

TEL.096-351-8321
 FAX.096-351-8697

平日/8:30~17:00 土曜/9:00~12:00

※日曜、祝祭日、年末年始を除く
 ※土曜日は検査のみのご予約はできません